**衆院選をふりかえって　市民と野党の共闘をもとめる2区の会**

**会発足から9月ごろまで**

　2016年秋、2017年早々に衆議院選が行われるとの予想にもとづき、市民の風が選挙区各区での市民と野党の共闘を目的とする会結成の呼びかけを行う。それに呼応し、2区の会では2016年11月3日に会発足に向けての初会合が開かれ、38名が参加。6名の担当者（のち世話人になる）が選出される。

12月に入り、担当者が民進党2区総支部、市民ネットワーク、日本共産党東区・北区、社会民主党を訪問、市民と野党の共闘を呼びかけ、キックオフ集会への参加をお願いする。

12月21日、「市民と野党の共闘をもとめる2区の会」キックオフ集会が開かれ130名が参加。社会民主党の諸岡廣志さん、日本共産党の金倉まさとしさん、民進党の松木けんこうさん、市民ネットワークの佐藤典子さんが握手を交わした。自由党の山本太郎さんのメッセージ代読もあり、熱気のあるスタートだった。この集会後、新たに世話人2名が加わる。

2月4日と4月15日に、松木さんと金倉さんに話をきく「市民と野党のトークカフェ」を開き、市民からの質問にざっくばらんに答えてもらう場を作る。

同時に野党の市議会議員と道議会議員を訪問し、2区の会の設立趣旨を説明し、上記トークカフェなど、予定されている共同行動への参加を呼びかける。

17年早々と言われていた選挙が遠のき、「共謀罪」廃案が喫緊の課題となったことから、4月30日に北区で、5月6日に東区で「共謀罪にNOを！　共同街頭宣伝」を行う。日本共産党、社会民主党、市民ネットワーク、市民の風北海道が参加。民進党は松木さんのスケジュールが合わず、幟と、松木さんのメッセージ代読による参加。共謀罪に関しては7月20日（北24条駅）、8月3日（東区役所前）、24日（北24条駅）、9月7日（東区役所前）でスタンディング。

　ほかに2区の会を広く知ってもらうためにフェイスブックとツイッターをはじめ、リーフレット「このまんま安倍サンにまかせてだいじょうぶ？」「2区の会通信1号」を発行。7月29日には弁護士の猪野亨さんを招いて、講演会「憲法9条3項[自衛隊]明記ってどういうこと？」、9月16日には宮田和保さんを講師に招いて「ＪＲの再生と地域の発展」を開催した。この講演会では松木さん、金倉さん、社民党の豊巻さんもスピーチを行い、市民ネットワークの石川さわこさんのメッセージ代読があった。

**9月以降から衆議院選挙まで**

　9月中旬に安倍首相による臨時国会冒頭解散のニュースが流れると、共闘の早期実現のために22日には民進党2区総支部、25日から27日にかけては共産党、道労連、民進党、連合を回り、共闘の早期実現を要請した。

　またリーフレット「どうして今　衆議院解散総選挙なの？」を発行。道行く人々に訴えるためにスタンディングを行った。スタンディングは9月21日（北24条）、24日（麻生）、25日（麻生、34条駅）、26日（麻生、34条駅）、27日（麻生、34条駅）、28日（麻生、34条駅、元町駅）、29日（麻生、34条駅）、30日（麻生、34条駅）10月2日（麻生、元町駅）、3日（北18東８、麻生）、4日（環状線東札幌駅）、5日（東区役所前）6日（栄町駅）、9日（麻生）、10日（東区役所前）、11日（麻生）、13日（麻生）、14日（麻生）、18日（麻生）、20日（麻生）、21日（麻生）と続けた。

　この間、27日に民進党が希望の党に合流するというニュースが流れた。その後立憲民主党が生まれたが、10月4日に松木さんが希望の党の第一次公認候補となるに至り、ほぼ1年にわたる共闘を求めての活動は転換を余儀なくされた。5日に会員のつどいを開き、同日に市民の風と立憲民主党、日本共産党、社民党の4者が協定を結んだことを受け、市民と野党の統一候補となった金倉さんを応援することを決定。7日午前に2区の会と金倉さんの間で協定書を交わし記者会見を行った。

　公示後にはスタンディングを行うとともに、金倉さんの街宣情報を会員に毎日メールとFAXで送信（途中からはメールのみ）、13日、14日、15日、20日、21日には選挙カーの後について2区の会と市民の風の幟を立て「市民も応援しています」の見える化をはかった。

**選挙結果とこれから**

　開票の結果は吉川貴盛（自民）**104,824票＜41.3％＞、松木けんこう（希望）74,425票＜29.4％＞、金倉昌俊（共産）52,626票＜20.8％＞、小和田康文（維新）21,643票＜8.5％＞だった。**

**金倉さんは前回（2014年）の**36,277票(15.9%)に較べ大きく票を伸ばし、統一候補となったことが一定程度、得票率に結び付いたと言える。いっぽう、比例の得票は増えず、今回の衆院選で野党共闘をともにめざした共産党が一議席を失ったことは痛恨であった。

　2区の会では11月11日に「会員のつどい」をもち、会員それぞれの率直な感想と、これからどうするかについて話し合った。

　安倍政治の暴走を止めるために、市民と野党が共闘し、衆院選で立憲野党が議席を獲得することをめざしたこの1年。その模索と行動を、どう振り返り未来に生かすかということを語ることは、特にこの2区では簡単ではない。それでもつどいの席では2区の会を何らかの形で存続させたいという意見が多数だされた。

　2区の会では12月7日に総会を開き、これからのことについて話し合い、決議する予定である。